

アジア官民会議の概要

○アジア官民会議の開催目的

当会議は、アジア諸国の官民の関係者の参加により、アジアを含む国際的な自動車基準の調和と認証の相互承認を促進することを目的として、わが国が中心となって1998年より開催している。

○第12回会議の概要

開 催 期 間：2007年11月27日（火）～28日（水）

場 所：マニラ（フィリピン）

主 催 者：フィリピン共和国陸上運輸局
自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)

後 援：日本国国土交通省

参加国及び地域：中国、インド、インドネシア、韓国、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、台湾、日本、オーストラリア（オブザーバー）

出 席 者：各国の自動車関連行政機関（運輸、工業、環境など）関係者
（日本からは、国土交通省自動車交通局技術安全部
技術企画課国際業務室長 他1名が参加）
各国の自動車関連民間団体関係者
自動車工業会
自動車部品工業会 など
（全体で約150名、うち日本から15名が参加）

○第12回会議の結果

今回の会合においては、各国が自動車基準の調和と相互承認の重要性について認識し、その実現について活発な議論が交わされ、以下のような方向性が示された。

- 1) 各国の58協定加盟への動きを受け、協定加盟後の各国との相互承認の実現のため、各国個別の具体的な議論を行っていくこと。
- 2) WP29へのアジアからの参加国の拡大とそれに伴うアジア各国からの提案を通じて、自動車基準の策定/改定に関わっていくこと。
- 3) WP29の活動に関する個別具体的な検討については、2008年以降も専門家会議を積極的に開催し、検討していくこと。